



応募名称

炭素循環型社会を目指した 食品生産利用技術

会社名、事業場名

株式会社ユーグレナ

東京都文京区 / <http://euglena.jp/>

■ 具体的な取組内容 ■

株式会社ユーグレナは、微細藻類ユーグレナ（和名：ミドリムシ）を中心とした屋外大量培養技術を軸に、食品や化粧品を中心として、飼料、燃料など様々な分野の産業展開へ向けた研究開発を行っている研究開発型のバイオテクノロジー企業です。ユーグレナは、光合成により二酸化炭素を効率よく吸収して増殖するポテンシャルを有しており、増殖したユーグレナから脂質成分を取り出して加工することで、再生可能エネルギーの一つの燃料として利用することなどが期待されています。



ユーグレナの顕微鏡画像

現在、当社は栄養価の高い微細藻類ユーグレナを機能性食品として、サプリメントやクッキーなどの形で販売しています。これらの事業活動においてのユーグレナの生産方法はノウハウとして蓄積するとともに、ユーグレナから抽出した脂質成分を航空機やディーゼル車を動かすためのバイオ燃料として実用化へ向けた研究を進めております。

当社は、微細藻類ユーグレナの生産を行い、食品や燃料などとして様々な場面で活用することにより、日本発の技術で環境問題と食料問題を解決することを目指しています。



微細藻類ユーグレナ由来のバイオ燃料を含む DeuSEL® 燃料を使って走るバスと給油所（いすゞ自動車藤沢工場内）



微細藻類ユーグレナを用いた循環型社会のイメージ

■ 評価 ■

藻類であるミドリムシを、世界で初めて食品用途として屋外で大量培養することに成功。ミドリムシの食品や化粧品としての商品化と市場拡大を進めると同時に、医薬品やバイオ燃料用としての研究を実施している点が評価された。